

未受精卵凍結保存及び凍結保存継続にする同意書

※記入後、ご提出前にコピーを取り、控えとしてご自身で保管して下さい。
本書は受付にご提出下さい。

受領者	受領日	控え
	/	<input type="checkbox"/> 患者 <input type="checkbox"/> 当院 <input type="checkbox"/> 郵送

私達は私達夫婦の今後の不妊治療のために、未受精卵を貴院にて、凍結保存することを希望します。未受精卵の凍結保存については HP の書類ダウンロードのページに掲載されている「当院の規定」の中の「胚・未受精卵凍結保存及び凍結保存継続に関する説明書」によって下記の事項を十分に理解し納得しました。また、凍結保存に関する説明書の内容に対し異議はなく、この規定を守ることをお約束します。

※HP の書類ダウンロードのページに掲載されている「当院の規定」の「胚・未受精卵凍結保存及び凍結保存継続に関する説明書」とともに下記事項を 1 つずつ振り返り左端の患者口欄に☑を入れ下記に署名して下さい。患者口欄に 1 つでも☑が無い場合には同意書は受領出来ませんので、不明点など質問がある場合には提出前にお問合せ下さい。

(↓患者☑欄)

- 1【説明書 1】1-②未受精卵凍結することが出来る方とその留意点、1-③・1-④凍結方法、1-⑤凍結出来る未受精卵の基準、1-⑥必要な同意書、1-⑦同意書が提出できなかった場合、1-⑧凍結不可の場合、1-⑨凍結未受精卵の状態と写真のお渡し、について理解し納得している。
- 2【説明書 2】未受精卵の凍結保存期間と費用について理解し納得している。
- 3【説明書 3】未受精卵の凍結保存期間は延長できるが、当院の定める最長保管期間に定めがありこれを 1 日でも過ぎると未受精卵の処分権は当院に帰属することを理解し納得している。
- 4【説明書 4】4-①凍結保存期間満了までに継続もしくは破棄処分の手続きが必要であり、凍結保存期間満了日までに手続きが完了しない場合は継続の意思がなく凍結胚の所有権を放棄したものとみなし凍結胚の処分権は当院に帰属する。また、凍結保存期間満了日までに継続もしくは破棄処分の手続きが行われない場合は、当院での以後の胚・未受精卵の凍結はお断りさせて頂きます。4-②凍結継続の手続き方法、4-③凍結破棄処分の手続き方法、4-④当院から患者様に連絡し凍結継続されるか破棄処分されるかの連絡をするなどの義務はなく手続きは患者様の責任のもとで行っていただくこと、4-⑤当院からのご案内、について理解し納得している。
- 5【説明書 5】災害などの不可抗力により未受精卵に損傷や損失が生じた場合は未受精卵が破棄処分され、これらの補償には一切応じられないこと。天災や火災などにより凍結未受精卵が回復不可能な損傷・紛失に至っても当院に対して異議申し立ては出来ないことを理解し納得している。
- 6【説明書 6】保存責任については、凍結未受精卵が不可抗力その他当院の責めに帰すべからざる事由により使用不可能になった場合、当院は一切損害賠償責任を負いません。ただし、当院の責めに帰すべき事由によって凍結未受精卵が使用不可となった場合、当院は患者様が使用不可となった未受精卵にそれまで支払われた凍結保存費用の合計額を限度として損害を賠償致します。それ以上の補償はなく、要求しないことについて理解し納得している。
- 7【説明書 7】凍結未受精卵は他施設に移送することが出来、その手順などについて理解し納得している。
- 8【説明書 8】8-①仕事や家庭の事情によりご夫婦の住所が別々になり、胚・未受精卵凍結保存リストの送付先である妻の住所が変更される場合には住所変更の手続きが必要、8-②ご夫婦の住所が別々になる場合で夫を連絡窓口にする場合にはその手続きが必要、8-③ご夫婦関係が不良な場合の注意点、離婚された場合について理解し納得している。
- 9【説明書 9】妻が死亡した場合の凍結未受精卵は夫の意思に関係なく破棄処分されることについて理解し納得している。夫が死亡した場合、凍結保存のみ継続可能なため当院まで連絡が必要なることを理解し納得している。
- 10【説明書 10】破棄処分される未受精卵は培養医療技術発展のため、未受精卵融解練習、未受精卵凍結練習、顕微授精練習などに使用される場合があり使用後はただちに責任をもって破棄処分され、他者への胚移植などには使用されないことを理解し納得している。
- 11【説明書 11】11-①融解方法、11-②融解後の治療、11-③融解後の生存率、11-④凍結融解胚移植割合の実際と妊娠、11-⑤融解同意書、11-⑥融解には費用が発生すること、について理解し納得している。
- 12【説明書 12】規定は当院の判断により改定されることがあることを理解し納得している。
- 13【説明書 13】その他、全ての項目は日本産科婦人科学会、及びJISARTの規定に基づくことを理解し納得している。

<注意事項>

- ① 治療手技がキャンセルまたは不成功に終わり、妊娠に至らない可能性があることをご了承ください。
- ② この同意書を提出後でも、凍結前であればいつでも自由に同意を取り消すことが出来ます。
- ③ 今回行う未受精卵凍結保存法は、標準的な治療であり、実験的な新しい治療法や臨床治験ではありません。
- ④ 患者様の個人情報個人情報保護法及び当院の規定で取扱います。治療経過に関する情報は個人が特定されない形で、日本産科婦人科学会や他学会へ報告することがあります。

医療法人社団暁慶会はらメディカルクリニック

院長 原 利夫殿

同意日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

〒 _____

夫氏名 (自署) _____

妻氏名 (自署) _____

診察券番号 (_____)

*凍結未受精卵保存に関する当院からの全ての連絡は代表連絡窓口である妻に対してのみ行えば足りるものとします。

<選択事項>以下のどちらかに必ず☑をしてください。どちらを選択しても不利益が生じることはありません。
凍結することになった未受精卵が将来移植されず破棄処分の選択がされた場合に生命には結びつかない段階での研究目的に使用してもよろしいですか？(胚の若返り研究などに使用します)

- 研究に使用許可
- 研究に使用許可しない